

姉妹でアトピーと喘息症状を治療した小児アトピーの経過 (6歳・4歳女児)

症例 ID：001-06-HY2 | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

上の娘は生後1か月で乳児湿疹が出ましたが、いったん自然にきれいになりました。1歳3か月頃から再び頸部と関節に湿疹が出て、公立病院で抗アレルギー剤、非ステロイド軟膏、ステロイド外用薬を使用していました。

3歳3か月頃に肛門周囲から湿疹が再発し、1か月以内に全身へ広がりました。幼稚園入園後は全身の乾燥、顔の赤み、夜間のかゆみ、頸部の浸出液、喘息発作もあり、夏休みに松本医院を受診されました。下の娘にも生後2か月から湿疹があり、同時期から治療を始めました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	上の娘は公立病院でアルメタ（ステロイド）を処方され、2～3日に1回使用していました。喘息に対してホクナリンテープや気管支拡張薬、抗アレルギー剤も使用していました。
製品名	アルメタ。その他はザジデン、コンベック、ホクナリンテープ、気管支拡張薬、抗アレルギー剤を使用していました。
強度	アルメタの強度は不明です。
使用期間	1歳3か月頃から松本医院受診前まで断続的に使用していました。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使わない方針へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後1か月	来院前	上の娘に乳児湿疹が出ましたが、1か月ほどで自然にきれいになりました。
1歳3か月頃	来院前	頸部と関節に湿疹が出て、抗アレルギー剤、非ステロイド軟膏、ステロイド外用薬を使用しました。
3歳3か月頃	来院前悪化	肛門周囲から湿疹が出始め、1か月以内に全身へ広がりました。
幼稚園年中頃	来院前ピーク	全身の乾燥、顔の赤み、頸部の浸出液、夜間のかゆみ、喘息発作がありました。
夏休み	治療開始	松本医院を受診し、飲み薬、消毒、入浴を始めました。
1か月後	経過中	全身に湿疹はありましたが、頸部からの浸出液は出なくなってきました。
2か月後	回復傾向	夜間に2時間ごと起きていた状態から、夜に2回起きる程度となりました。
5か月後	症状の波	全身に発疹が出て感染を起こしているような状態が1か月続きました。
9か月後	回復傾向	全身はほとんどきれいになり、顔面の湿疹のみが残る状態に

		なりました。汗をかいてもひどくなくなりになりました。
1年後	経過後	顔の赤みが消え、ほとんど湿疹がなくなりました。幼稚園の写真でも笑顔が増えました。

4. ピーク時期

ピークは、幼稚園年中頃に全身が乾燥し、顔が赤く、頸部から浸出液が出て、夜中に2〜3時間ごと目を覚ましていた時期です。治療開始5か月後にも感染を起こしているような全身発疹が1か月ほど続きました。

5. 困りごと

- ・夜間に2〜3時間ごと目を覚まし、保護者が1時間近く掻いてあげる生活が続いていました。
- ・幼稚園でもかゆみで泣き、冷たいタオルで拭いてもらう必要がありました。
- ・消毒時には痛みで大きく泣き、毎日の処置が保護者にとって大きな負担でした。
- ・喘息発作があり、吸入のために病院へ行くこともありました。

6. 経過のまとめ

上の娘は3歳3か月頃から湿疹が全身へ広がり、夜間のかゆみ、頸部の浸出液、喘息発作も伴っていました。松本医院受診後、飲み薬、消毒、入浴を始め、1か月後には頸部の浸出液が出にくくなり、2か月後には夜間に起きる回数も減りました。

治療開始5か月後には全身発疹が1か月ほど続く時期がありましたが、9か月後には全身はほとんどきれいになり、1年後には顔の赤みも消え、ほとんど湿疹がない状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。